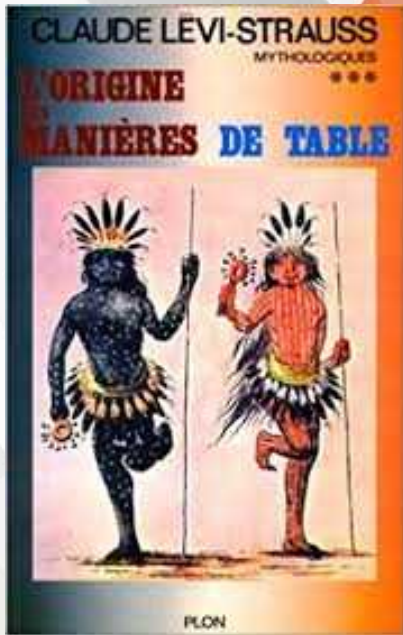


レヴィストロース  
神話学第3巻  
食事作法の起源 3

同盟を阻害する周期性の外  
れ



## L'Origine des Manières de Table

食事作法の起源 1968年7月出版 Plon社

### 主な内容

- 1 食材（取得、摂取）における文化介入  
（モンマネキ神話）
- 2 文化継続のために周期性の確立  
（転がる首神話群）
- 3 近すぎる同盟、遠すぎる同盟  
（麗しのアサワコ）食事作法が  
同盟作法の教え
- 4 食事で音を立てる立てないどっち？  
（カエルと娘の食い競争、北米Arapaho族）
- 5 数え方の起源
- 6 新大陸神話の北上説

文化は創生された  
火の発見水の生成（M1神話）

しかし食事作法は確立していない  
（モンマネキ神話）

同盟の継続、周期性も定められていない  
（麗しのアサワコ）

モンマネキの失敗  
遠すぎる同盟（食事作法の不在）  
を選んだ。人獣婚、分割女

アサワコの悲恋  
同盟を維持できない遠すぎる地理  
上流の少年 下流の佳人

課題は文化の維持

周期律の追求

転がる首神話群

# 転がる首神話群のグローバリズム

M391神話（転がる首）等に見る天体の創造と周期律の獲得

## Syntagme (Analytique)

Paradigme Dialectique

	天体の創造	日夜の交代	季節の替わり	年周期の発生	
<b>罪</b>	M391 狩りすぎ 自然への不敬	M392 兄妹婚	M393 信じやすさ 兵士の失敗	M255 母子婚	M362 1妻多夫の 妻が義務否定
<b>罰</b>	虐殺	追放殺害	殺害	殺害され 首になる	弟を殺害
<b>抵抗</b>	毀損 首が残る	毀損	毀損	昇天	脚を切る (魚の起源)
<b>追放</b>	放逐	月に変身	放逐	夏太陽 冬太陽の起源	上半身オリオンに (漁期の周期性)
<b>昇天 周期性</b>	M255と関連		月、星、虹 の創造		

SyntagmeとParadigmeが形成  
する枠をGlobalとする

## M391 Temb 族 転がる首

族民総出の狩りは大獵果を上げている。狩りを超えて屠殺の相すら見せている。少年には肉の燻製が課せられ、一人宿泊地で煙を炊いていた。すると；

«Soudain, il vit surgir un inconnu qui inspecta le gibier d'un air m content, compta les hamacs et s'enfuit. Quand les chasseurs rentr rent, le gar on raconta la visite, mais nul n'y pr ta l'attention. Plus tard dans la nuit, il r p ta l'histoire   son p re dont le hamac  tait pr s du sien. Il r ussit   l'alarmer   (73頁)

見知らぬ男が突然、湧き上がるかに現れた。狩り取られた獲物を不機嫌な表情で見下ろし、ハンモックの数を確かめ消えた。狩人らが戻ると一部始終を少年は語ったが、誰の注意も呼ばなかった。夜、寝入って隣の父親に再び事の次第を語り、二人はその宿泊屋から離れ森に泊まると決めた。

そして

« Peu après. Ils entendirent des cris d'animaux nocturnes, des gémissements humains et les craquements d'os brisés. C'était le Curupira et sa bande, esprit protecteur du gibier qui massacraient les chasseurs irrévérencieux »

直ぐに夜の獣の叫びを二人は聞いた。そして人のうめき、骨が碎ける音。不遜な狩人を抹殺する獣の守り神Curupiraと手下の仕業である。

少年と父親が村に戻る途中、仲間一人の首が転がっていた。同行を懇願された。一旦は担ぎ上げたが、怖くなった父親は首を策略を用い森に埋めた。

しかし首は土中から抜け出て殺人鳥に変身した。魔術師が一矢放って、鳥を両目を潰した。

M392 転がるがん首と月の起源 Kuniba族 (75頁)

娘が毎晩、誰とは名乗らない男の訪問を受けた。

娘はアカネ染料 (genipa) で青の目印を男の顔に塗った。翌朝、名乗らぬ男とは兄と知った。村人は罪人 (兄のみ) 追いだした。対敵する族の縄張りに迷いこんで男は首を刈られた。

もう一人の兄が男のがん首を見つけ抱えたが、首は食べ物飲み物をしきりに求めたので、兄は放り出して逃げてしまった。

«La tête parvint en roulant jusqu'au village et voulu pénétrer dans la hutte. Comme on lui refusait l'entrée, elle envisage l'une après l'autre plusieurs métamorphoses : en eau, en pierre, etc. Finalement, elle choisit la lune = 中略 = Pour se venger de sa sœur qui l'avait dénoncé, l'homme changé en lune l'affligea de la menstruation »



南米先住民が身体染色に用いる  
Genipa

訳：転がりながらも弟を追いかけて村までたどり着いたがん首、妹の小屋に入らむと試みた。しかし内からは拒否の悲鳴。居場所をどこにも見つけられないがいがん首は、物に変身すると決心した。水、石など変身する候補を思い浮かべては、そのたびに「人間に利用されてしまう」と自ら否定する。最後に人には役立たずの月を選び天に昇った。秘事をばらした妹には月経が起こる身体にして復讐した。

Incesteをして月の起源とする神話は新大陸で多く伝承されている。また転がるがん首が月の起源とする地域はブラジル北部を東西にまたがる（レヴィストロース）。

M392はincesteとがん首の両要素を月と月経の起源に取り上げている。Kuniba族の居住地はブラジル北部、両の主題が交差する地域であろう。死後の変身にいろいろな候補をあげ、最後に月を選択するモチーフは別神話でも語られる。

M393 月の起源 l'origine de la lune Cashinawa族 (76頁)

(うっかり兵士が月に変身) 隣接する部族が戦闘状態に陥った。ある男が敵戦士に出会って逃げようとした。しかし敵戦士の甘言「妻はよその男が好きだから」と言いくるめられて、宅を訪問するはめになった。結局、男は首を刳られ首は捨てられた。同族の戦士が首を拾うと背にしがみつき、さんざ迷惑かけて放り出された。人として居場所を失い、変身しようと自問するが探りあぐねる。

果物、大地、樹木、水、魚、毒、蛇などを挙げ同族者に伝える。これら全ては人に利益を与える、あるいは人から殺されるに気づいて決断できない。太陽では？の自問、お前らに暖かさを与えてしまふ、雨？川の水かさが増え魚が繁殖し、お前達がタラ腹になるから嫌だ…思い着いたトドのつまりは

« J'ai une idée. De mon sang, je ferai l'arc-en-ciel, chemin des ennemis ; de mes yeux, les étoiles ; et de ma tête, la lune. Et alors vos femmes et vos filles saigneront. Pourquoi donc ? La tête ne répondit « pour rien »

訳；思いついたぞ、まず私の血が虹になるのだ。それはお前らの敵どもの通り道になる。目は星に変わる。この首は月となる。そしてお前らの妻、娘が血を垂らす。なぜそそうになってしまうのかの問いに首は「何の役にも立たないから」と答えた。

がん首は無慈悲扱いの女への復讐のために月に変身した。

月経は人にも女にも役に立たないけれど、女が周期性を獲得するに貢献し、ひいては女を文化に連れ込む事になった。

## M362 origine du baudrier d'Orion, オリオン座三つ星（肩ひも）の起源

（婚姻規則の軋轢に死ぬ、漁労を告げる星に変身）Mucushi族は今のベネズエラに居住していた。3人兄弟が住む。長兄は結婚しており、次男は未婚ながらも人物として良くできている。末子は醜い。それ故、次兄は末子を（兄嫁にそそのかされて）殺すと決めた。口実を設け木に登らせ果実を取らせた。末子が枝にまたがり無防備となった機会をとらえて刺し殺した。死骸は地に落ち、とどめに両脚を胴から切り取って捨てた。しばらくのして殺害の現場に戻って、義理の姉と出会った（rencontrer）。

« A quoi peuvent donc servir ces jambes, dit-il, elles ne sont bonnes qu'à nourrir les poissons. Il les jeta à l'eau où elles se changèrent en poisons. Le reste du cadavre fut abandonné, mais l'âme monta au ciel et devint trois étoiles d'Orion » (35頁)

訳；義姉に「こいつの脚をどう処分するの、魚の餌にするしかない」けなしながら池に捨て、脚は魚に変わった。胴体は放置され、魂は天に昇ってオリオン座三つ星になった。

（オリオン三つ星（南米では脚無しの兵士）夜明け前に地平に現れると漁の季節（乾季）を告げる。髪の毛座が夜明け前に出ると、漁の終わり）

# 転がる首神話群のグローバリズム

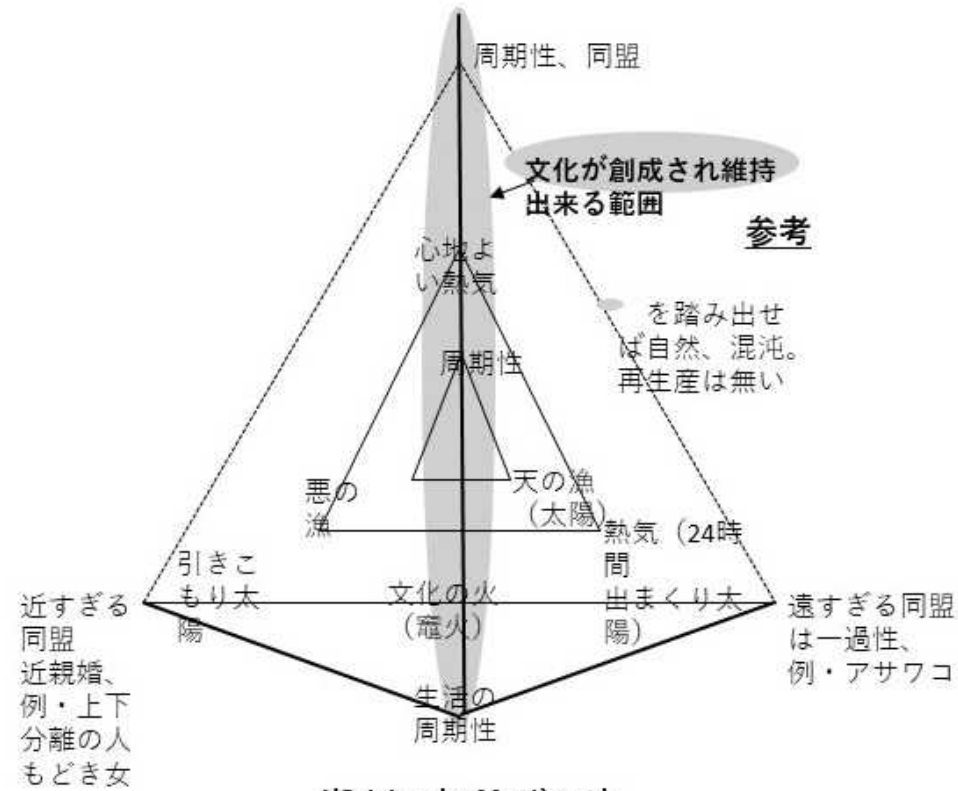
M391神話（転がる首）等に見る天体の創造と周期律の獲得

## Syntagme (Analytique)


Paradigme Dialectique

	天体の創造	日夜の交代	季節の替わり	年周期の発生	
<b>罪</b>	M391 狩りすぎ 自然への不敬	M392 兄妹婚	M393 信じやすさ 兵士の失敗	M255 母子婚	M362 1妻多夫の 妻が義務否定
<b>罰</b>	虐殺	追放殺害	殺害	殺害され 首になる	弟を殺害
<b>抵抗</b>	毀損 首が残る	毀損	毀損	昇天	脚を切る (魚の起源)
<b>追放</b>	放逐		放逐		
<b>昇天 周期性</b>	M255と関連	月に変身 女に周期性	月星虹の創造 女に周期性	夏太陽 冬太陽の起源	上半身オリオンに (漁期の周期性)

SyntagmeとParadigmeが形成  
する枠をGlobalとする



L'Origine des Manières de Table 食事作法の起源  
を説明する (117頁図)



レヴィストロース  
神話学第3巻  
食事作法の起源 3

同盟を阻害する周期性の外  
れ了